

令和6年7月 景況調査結果

100事業所中

回答事業所

38

回答率

38%

今期(令和6年1月～令和6年6月)の状況、見通し

・前年同期(令和5年1月～6月)に比べて(単位%)

①売上	増加	不変	減少
製紙業	45%	22%	33%
製造業	33%	33%	33%
建設業	0%	75%	25%
卸・小売業	30%	20%	50%
サービス業	0%	83%	17%
全業種	22%	46%	32%

②販売価格	上昇	不変	下降
製紙業	78%	22%	0%
製造業	56%	44%	0%
建設業	50%	50%	0%
卸・小売業	70%	20%	10%
サービス業	33%	67%	0%
全業種	57%	41%	2%

③仕入価格	上昇	不変	下降
製紙業	89%	11%	0%
製造業	100%	0%	0%
建設業	75%	25%	0%
卸・小売業	100%	0%	0%
サービス業	83%	17%	0%
全業種	89%	11%	0%

④採算	好転	不変	悪化
製紙業	22%	45%	33%
製造業	0%	37%	63%
建設業	0%	100%	0%
卸・小売業	20%	20%	60%
サービス業	0%	50%	50%
全業種	8%	51%	41%

⑤資金繰り	好転	不変	悪化
製紙業	11%	78%	11%
製造業	0.0%	87%	13%
建設業	0%	100%	0%
卸・小売業	20%	70%	10%
サービス業	0%	83%	17%
全業種	6%	84%	10%

⑥雇用状況	増加	不変	減少
製紙業	11%	89%	0%
製造業	0%	67%	33%
建設業	25%	50%	25%
卸・小売業	10%	90%	0%
サービス業	0%	100%	0%
全業種	9%	79%	12%

⑦設備投資	実施	未実施
製紙業	44%	56%
製造業	50%	50%
建設業	0%	100%
卸・小売業	10%	90%
サービス業	0%	100%
全業種	21%	79%

⑧借入	実施	未実施
製紙業	22%	78%
製造業	56%	44%
建設業	25%	75%
卸・小売業	10%	90%
サービス業	0%	100%
全業種	23%	77%

・来期(令和6年7月～12月)の見通し(単位%)

①売上	増加	不変	減少
製紙業	33%	56%	11%
製造業	33%	45%	22%
建設業	25%	50%	25%
卸・小売業	12%	44%	44%
サービス業	0%	83%	17%
全業種	21%	55%	24%

②販売価格	上昇	不変	下降
製紙業	33%	67%	0%
製造業	11%	78%	11%
建設業	50%	50%	0%
卸・小売業	67%	33%	0%
サービス業	50%	50%	0%
全業種	42%	56%	2%

③仕入価格	上昇	不変	下降
製紙業	67%	33%	0%
製造業	78%	22%	0%
建設業	75%	25%	0%
卸・小売業	75%	25%	0%
サービス業	67%	33%	0%
全業種	72%	28%	0%

④採算	好転	不変	悪化
製紙業	11%	78%	11%
製造業	0%	33%	67%
建設業	25%	50%	25%
卸・小売業	11%	33%	56%
サービス業	0%	33%	67%
全業種	9%	46%	45%

⑤資金繰り	好転	不変	悪化
製紙業	0%	100%	0%
製造業	0%	78%	22%
建設業	0%	75%	25%
卸・小売業	0%	62%	38%
サービス業	0%	83%	17%
全業種	0%	80%	20%

⑥雇用状況	増加	不変	減少
製紙業	11%	89%	0%
製造業	0%	78%	22%
建設業	0%	75%	25%
卸・小売業	11%	89%	0%
サービス業	0%	100%	0%
全業種	4%	87%	9%

⑦設備投資	実施	未実施
製紙業	11%	89%
製造業	38%	62%
建設業	0%	100%
卸・小売業	11%	89%
サービス業	0%	100%
全業種	12%	88%

⑧借入	実施	未実施
製紙業	0%	100%
製造業	25%	75%
建設業	25%	75%
卸・小売業	11%	89%
サービス業	0%	100%
全業種	12%	88%

※構成比については、各区分単位で小数点以下第2位を四捨五入して求めたので、その合計が100%とならないことがあります。

当面直面している経営上の問題点(単位%)

	製紙業	製造業	建設業	卸・小売	サービス業	全業種
1 大型店との競争の激化	4%	0%	0%	14%	6%	5%
2 新規参入業者の増加	4%	0%	0%	0%	0%	1%
3 人件費の増加	8%	28%	25%	14%	12%	17%
4 人件費以外の経費の増加	23%	28%	12%	28%	29%	24%
5 金利負担の増加	0%	4%	12%	3%	0%	4%
6 需要の停滞	27%	16%	12%	24%	18%	19%
7 従業員の確保難	11%	20%	39%	10%	6%	17%
8 事業資金の借入難	0%	0%	0%	0%	0%	0%
9 原油高による影響	15%	4%	0%	7%	23%	10%
10 その他	8%	0%	0%	0%	6%	3%

売上DIは前回調査(R6年1月)ではマイナス11でしたが、今回調査ではマイナス10とマイナス幅が減少しました。採算DIにおいてもマイナス48からマイナス33とマイナス幅が減少しました。来期(R6年7月～12月)については売上DIがマイナス3、採算DIがマイナス36と依然厳しい見通しであります。経営上の問題点については、人件費以外の経費の増加、需要の停滞、人件費の増加、従業員の確保難が上位を占めています。

※DI・・・増加から減少を引いた値。景気感を表す。